

鞠智城跡の調査と成果

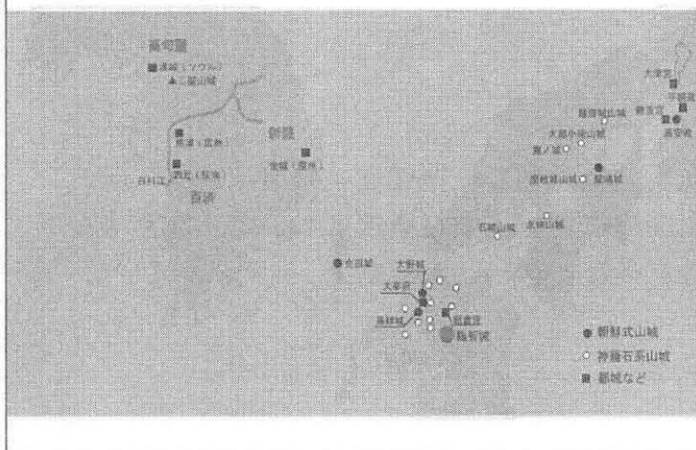
能登原孝道（歷史公園鞠智城・溫故創生館）



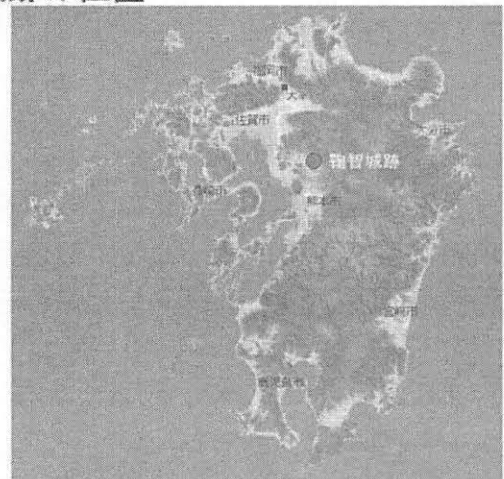
鞠智城とは

- ・7世紀後半(今から約1300年前)に大和朝廷によって築城された古代山城。
- ・白村江の戦いにおける敗戦を契機として、西日本各地に作られた古代山城の一つ。(古代日本の防衛体制の一翼を担う。)
- ・10世紀中頃までの約300年間存続し、その変遷は5期に分けられる。

古代山城の分布



鞠智城跡の位置





鞠智城跡全景（平成19年度撮影）

文献に見る鞠智城

六国史にみる鞠智城

※『国史体系』吉川弘文館

甲申、令々大宰府一掃。治大野。基肄。鞠智三城。

（書き下し文）

「甲申、大宰府をして大野・基肄・鞠智の三城を掃い治めしむ。」

『日本書紀』文政天皇二年（698）年五月二十日条

丙辰、肥後国言。鞠智城院兵庫鼓自鳴。丁巳、又鳴。

（書き下し文）

「丙辰、肥後国言す、鞠智城院の兵庫の鼓自ら鳴る」

「丁巳、又鳴る」

『日本書紀』文政天皇二年（698）年二月二十四・二十五日条

肥後国鞠智城院の兵庫鼓自鳴。同城不動倉十一字火。

（書き下し文）

「肥後国鞠智城院の兵庫の鼓自ら鳴る」

「同城不動倉十一字火」

『日本書紀』文政天皇二年（698）年六月二十日条

肥後国鞠智城院の兵庫鼓自鳴。

（書き下し文）

「肥後国鞠智城院の兵庫の鼓自ら鳴る」

『日本書紀』元慶三年（879）年三月十六日条



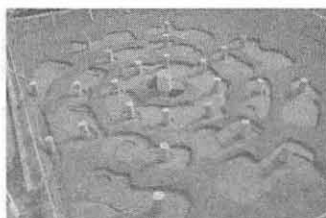
・城内の面積：約55ha
周囲長：約3.5km

・昭和42（1967）年
から32次にわたる
発掘調査を実施。

・72棟の建物跡、
3ヶ所の城門跡、
貯水池跡、土塁跡
などの遺構を確認。



長者原地区完備状況（平成9年度撮影）



南側八角形建物跡

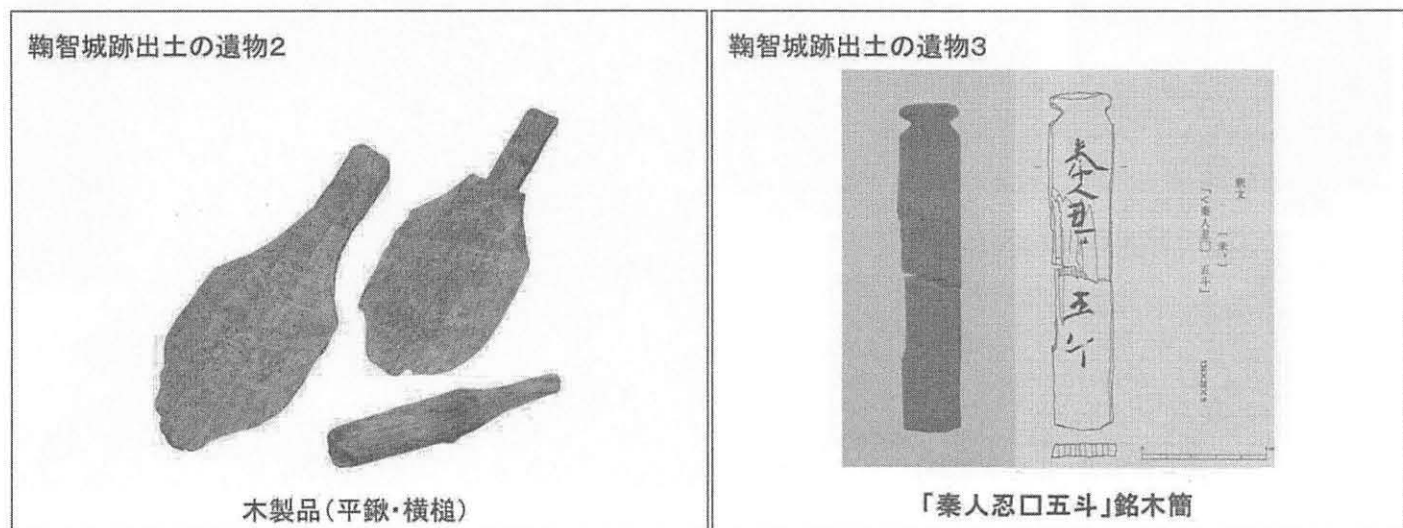


北側八角形建物跡



礎石建物跡（49号建物跡）



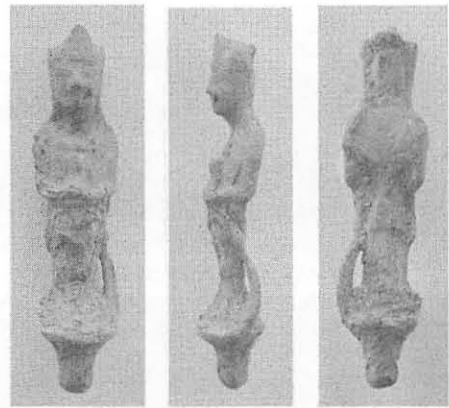


鞠智城跡出土の遺物4



単弁八葉蓮華文軒丸瓦

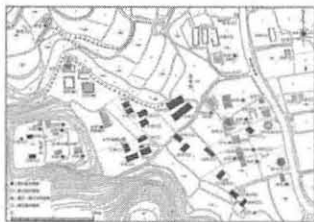
鞠智城跡出土の遺物5



百済系銅造菩薩立像

鞠智城の変遷

鞠智城Ⅰ期（7世紀第3四半期～第4四半期）



- ・鞠智城の創建期。
- ・掘立柱建物が築造。
- ・城門、貯水池、土塁を構築。
- ・古代山城としての最低限の機能が備わった時期。



南側土塁跡西端部・全景（東から）



貯水池跡・貯水池跡（南東から）



池ノ畔門跡・水門（東から）

鞠智城Ⅱ期（7世紀末～8世紀第1四半期前半）



鞠智城Ⅱ期の建物群

- ・八角形建物、「コ」の字形配置の建物群の出現。
- ・698年の緒治の時期



南側八角形建物跡（北から）



北側八角形建物跡（北西から）

鞠智城Ⅲ期（8世紀第1四半期後半～8世紀第3四半期）



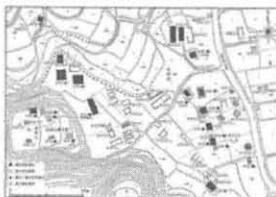
鞠智城Ⅲ期の建物群

- ・礎石建物の出現
- ・出土土器の空白期



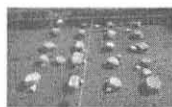
66号建物跡（南西から）

鞠智城Ⅳ期（8世紀第4四半期～9世紀第3四半期）



鞠智城Ⅳ期の建物群

- ・礎石建物の大型化
- ・食糧備蓄施設としての機能を持つ



20号建物跡（北から）

鞠智城Ⅴ期（9世紀第4四半期～10世紀第3四半期）



鞠智城Ⅴ期の建物群

- ・建物の数が減少。
- ・倉庫としての機能が主体的



56号建物跡（東から）

復元建物



八角形鼓樓



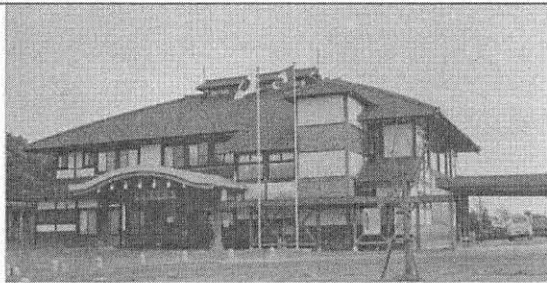
米倉



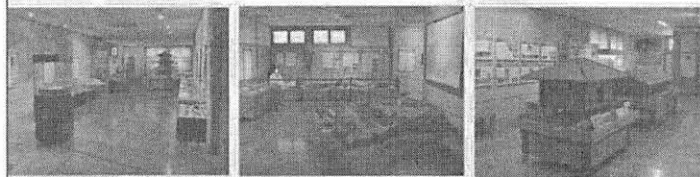
兵舎



板倉



ガイド施設 温故創生館(おんにそうせいかん)



温故創生館内 展示風景